



想い描いた野菜が 育つ感動と、 面白さ



新規就農者のリアルな
農業経営をお届けします

新規就農者 Pick up
NEW FARMERS FILE 004

RUNO FARM
あきる野市 工藤 健一さん

きっかけは妻との会話

八王子市の企業で営業の仕事をしていました。妻がJAで広報を担当していたのですが、その話を聞くうちに仕事としての農業に惹かれていきました。

2011年に「新・農業人フェア」で東京都農業会議の担当者に相談し、農家としてやっていけるのか確認するため、瑞穂町の農園を研修先として紹介してくれました。

勤めながら週1回通う生活を2年間続けました。研修先では同じ年の方が1ヘクタールほどの面積を耕作していたので、「これなら自分も頑張れば食べていけるかな」と思えてきました。

そこから本格的に就農を目指し、仕事を辞め、新規就農者になるためあきる野市で2年間研修しました。

就農するまで

その頃は東京 NEO-FARMERS!

が盛り上がってきた時期で、月例会にはたびたび参加し情報交換していましたね。僕はちょうどあきる野市が開始した「新規就農者提案型農業経営支援事業」を活用することができ、2015年に晴れて就農することができました。



地域貢献できる経営を

栽培は天候の変化に左右されますが、とにかく良いほうに考えるようになります。困った時はなんでも先輩農家に聞きます!直売所や農業者団体に所属し積極的に地域とかかわると教えてもらう機会が増えるし、何より面白いんですよね。苗やマルチの購入でもお世話になっています。

農作業は孤独なので、こういった繋



がりは励みになるんです。

「指名買い」が嬉しい

今は、あきる野市の名産のトウモロコシのほか、年間12種類程度栽培しています。以前は20種ほどだったので、経営向上のため絞りました。

直売所やスーパーを中心に卸し、最近はパクチーやプチヴェールなど珍しい野菜を指名買いしてくれるお客様も増えてきました。

